

## 2009年度 一橋大学 前期 地理B

### I 問 1

1 NATO の東方拡大に対抗してロシア、中央アジア諸国と中国は SCO を組織した。ワイルダーヨーロッパは、イラク戦争による米国の欧州への影響力後退を受けて、NATO と SCO との緩衝地帯としての役割を果たしている。  
(100 字)

### 問 2

2 戦前の国境線は戦争毎に変更されて透過性が低く、国境をまたぐ人的資源・天然資源の結合を妨げていた。  
(49 字)

### 問 3

3 国境の透過性が高く、水平分業の進む EU では、効率的に人と物が移動できる生産・流通体制が必要だから。  
(50 字)

### 問 4

4 A 群のドイツは、技術力が高く EU 単一市場が自国経済に有利と判断して域内労働力移動を認めている。B 群のイギリスは、ユーロ未導入で独自の経済政策を取り、労働力移動の制限により雇用と需要安定を図っている。  
(100 字)

### 問 5

5 IUCN は海峡地域を日本とロシアの係争地域と認識している。欧州は変更後の国境を公式に画定し、国境を越えた協力関係を築いているが、日ロは北方四島の帰属に固執して海峡地域の環境保全で協力関係を築けていない。  
(100 字)

## II

### 問 1

1 最大需要先である自動車産業が経済のグローバル化で世界的に拡大しているのに加え、医療用の世界的需要も高まっており、また、新興国、なかでも中国の経済成長が著しく、大きな需要増大をもたらしているため。

(98字)

### 問 2

2 モノカルチャー経済的体質を脱するためルックイーストと呼ばれる工業化政策が強力に推進され、一次産品生産が軽減されたうえに、合成ゴムとの競合をきらい、ゴム園を油やし園へ転換させる政策が採られたため。

(98字)

### 問 3

3 タイとマレーシアは北半球に位置し、雨季と乾季が明瞭な気候で生産量の季節変動が大きい。インドネシアは赤道付近の両半球にまたがり、また乾季が弱いところが多いために、生産量の季節的変動の幅が小さい。

(98字)

### 問 4

4 貿易の自由化、アセアン経済の緊密化を背景に、タイの経済成長が著しく、とりわけ先進国の自動車企業が東南アジア地域の自動車産業の要と位置づけていることによって、タイヤ需要としての内需が拡大しているため。

(100字)

### Ⅲ

#### 問 1

- 1 ① = ウ  
② = ア、ウ、エ  
③ = イ  
④ = ア、ウ、エ  
⑤ = ウ

#### 問 2

- A 市 = 33.3… 円  
B 市 = 33.3… 円  
C 市 = 66.6… 円

#### 問 3

3 A 市。従来使用してきた重量減損原料と純粹原料を使用する場合は、いずれかの原料産地に立地する傾向があり、A 市と B 市のいずれでも立地可能となる。しかし、重量減損原料に代えて普遍原料を使用し製品重量が変わらない場合は、純粹原料産地と市場地との関係のみが判断基準となるので、純粹原料産地か市場地か両者を結ぶ直線上のいずれかに立地する。この条件に合うのは、原料産地と市場地の間に位置する A 市のみとなる。

( 197 字 )